会　　議　　録

<table>
<tr><td>会　議　の　名　称</td><td colspan="4">平成２８年度第３回小川町地域公共交通活性化協議会</td></tr>
<tr><td>開　催　日　時</td><td colspan="4">平成２８年９月２９日（木）
開会時刻　午前１０時００分　　閉会時刻　午前１１時５０分</td></tr>
<tr><td>開　催　場　所</td><td colspan="4">リリックおがわ　２階会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="8">出　席　者</td><td>会長</td><td>尾崎　晴男</td><td>副会長</td><td>大山　澄男</td></tr>
<tr><td>監査委員</td><td>山岸　幸男</td><td>監査委員</td><td>小久保　文雄</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山﨑　浩司</td><td>委員</td><td>古屋　仁</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>畦地　英樹（代理）</td><td>委員</td><td>高橋　貴和</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>大山　博（代理）</td><td>委員</td><td>神原　正夫</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>堀米　康史</td><td>委員</td><td>田端　健二</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山口　勝士</td><td>委員</td><td>小澤　禄郎</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>柏俣　厚一</td><td>オブザーバー</td><td>渡部　学</td></tr>
<tr><td>会　議　の　議　題</td><td colspan="4">(1)　デマンド型交通実証実験運行案（最終案）について
(2)　小川パークヒル行き路線バスの一部ルート変更（案）について</td></tr>
<tr><td>会議の公開又は非公開の別</td><td colspan="4">議事(1)：公開
議事(2)：非公開</td></tr>
<tr><td>会議の非公開の理由</td><td colspan="4">不確定要素の多い事業計画の内容を含み、実施バス事業者からの要望があった為</td></tr>
<tr><td>傍　聴　人　の　数</td><td colspan="4">20 名</td></tr>
<tr><td>発　言　の　内　容</td><td colspan="4">別紙「発言の要旨」のとおり</td></tr>
<tr><td>会　議　資　料</td><td colspan="4">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>事　務　局</td><td colspan="4">都市政策課 都市政策担当</td></tr>
<tr><td rowspan="2">議事の確定</td><td>確定
年月日</td><td colspan="3">平成２８年　１０　月　２１　日</td></tr>
<tr><td>記名
押印</td><td colspan="3">役職名
会長　　尾崎　晴男　　㊞</td></tr>
</table>

別　紙

発言者	発言の要旨
尾崎会長	本日は今年度第３回目の協議会で、前回７月の開催から約２か月が経過した。その間に分科会において検討していただいた実証実験運行案の最終案を皆様にご確認いただく。また、もう一点の議題も含め、本日はご協議いただきたいと思う。
事務局	本協議会は原則公開としており、傍聴者の定員を 25 名として所定の方法で協議会開催の事前公表を行ったところ、本日は傍聴者が 20 名いる。尾崎会長の許可をいただき、入出させたいと思う。
尾崎会長	20 名の方々に傍聴いただくこととしてよろしいか。
一同	全委員承認
事務局	本協議会は原則公開だが、議事（２）については、不確定要素の多い事業計画の内容を含むこと、なおかつ実施バス事業者様のご要望もあることから、協議会会議運営規定第２条の規定により、尾崎会長の許可をいただいて議事の全部を非公開としたい。
尾崎会長	議事（２）小川パークヒル行き路線バスの一部ルート変更（案）について、議事の全部を非公開とすることとしてよろしいか。
一同	全委員承認
	(1)　デマンド型交通実証実験運行案（最終案）について
事務局	「資料①・参考資料①：小川町デマンド型交通実証実験運行案（最終案）」の説明および分科会の報告
山口委員	分科会に参加していたため、具体的な内容等について改めて提案することはないが、いくつか確認・意見を述べたい。分科会ではかなり細かい部分で議論されていたが、実証実験が始まるにあたり心配される点、また大事な観点となるのが、「トリガー」要するにどのくらいの人に実際に利用して頂けるのかという点と、利用料金の点である。安ければ安いほど利用者が増えるのか。この辺りは、デマンド交通に期待している人の意向と、料金設定が本当に合致するのかということにおいて、今回の実証実験で大きな問題になってくると思っている。公共交通を維持する・公共交通をもう一度つくり上げる、という基本から今回の計画がスタートしており、福祉的な思いだけで簡単に金額を決めるという訳にはいかない。したがって、今後実証実験の中で 500 円という金額に関して「高い」等の声が出てくると思うが、いきいきタクシー券など福祉政策の中で議論すべき問題であると考える。 また、これから説明会が開催されるが、行政区単位での開催では意識の高い低いが出てくるため、希望のあった団体等への出前講座を行ってもよいのではないか。 もう一点はバス路線維持も大きな目的であり、デマンド交通とは別に大きな課題となってくると思うが、今回の最低利用料金 500 円についてバス会社の方から率直な思いや考えがあれば伺いたい。

別　紙

大山副会長	分科会に参加していたので、一点目の料金について補足をさせていただく。分科会の中で、料金設定が大きなポイントということで議論し、結果的に 500 円、1000 円、1500 円の 3 段階となった。500 円という金額については「高い」という意見もある中で、町全体の公共交通維持の観点から、バス料金よりも高く、タクシーの初乗り料金よりも安いという設定で決まったものである。3 段階とした理由については、あくまで実証実験という中で、データをなるべく多く集めるため、複数の料金設定をした方がデータの収集がしやすいのでは、という観点で設定している。今後結果検証をしていく中で、「1000 円、1500 円は高い」というデータが集まれば、それを踏まえて本格運行時の料金設定を見直していきたいという趣旨である。
事務局	二点目の希望団体への出前講座について、希望があれば出来る限り対応したい。その上で、区長会の集まりや民生委員の定例会等にも積極的に出向いて周知活動をしていきたいと考えている。
尾崎会長	バス事業者さんから、ご意見があれば伺いたい。
堀米委員	大河地域では、公共交通空白地域以外の部分も今回のデマンド型交通実証実験運行の対象エリアに含まれる。そのような中で、既存の公共交通への影響を今回の実証実験で評価していただきたい。データ収集の項目に路線バスへの影響というものがあるが、路線バスからデマンド交通にどの程度シフトしていったのか等について調査をしていく必要があると思う。また、影響する停留所の乗降数等のデータも必要になってくると思われる。各事業者によって利用者のデータの取り方は様々だと考えるが、バス事業者からの提供となると別途調査が必要になる。そういった中では、アンケート等に基づいた調査等で対応いただきたい。運賃について、実際利用して頂いた際の 500 円という金額設定が適当なのか、負担となってしまうのか、維持の為にもう少し上げても良いのか等の意識変容的なものを聞けるアンケートの作成を検討していただきたい。
山口委員	小川町には色々なエリアがある。今回の結果を小川町全体としてどのように価値を持たせられるかが非常に大事な観点となるため、データの取り方等含めてしっかりと検討が必要だと改めて実感した。
山岸委員	周知の点で、以前行った地区説明会の参加者というのは実際の人口から見るとそんなに多くない。老年人口が八和田地区、大河地区で多くなっており、主要目的地も医療機関が圧倒的に多いが、今このようにデマンドの検討が進んでいる事を知っている人は少ない。周知方法で回覧による開催通知や会合による周知があるが、秋に各地域の 90%近くが集まる道路愛護事業や運動会があるので、「11 月にこういう話があるから聞いてみよう」と声をかけるだけでも口コミで伝わり、良い周知になる。自分の地域ではやろうと思うが、他の地区でも考えて頂ければ、良い周知方法になるのではないか。
事務局	パンフレットや Q&A の作成は間に合わないかもしれないが、11 月中旬に予定している説明会に向けて、説明会開催の周知はできると思うので、後程詳細を聞ければと思う。

別　紙

山岸委員	最初の段階では、きちんとしたパンフレットは必要なくて、関心を持ってもらったり、こういった動きがあることを知ってもらえれば、配布物も一生懸命見るようになると思う。
尾崎会長	今回いくつか議論してきたが、詳細は分科会の方でも議論をしていく。この計画案について承認していただけるようなら、挙手を願いたい。
一同	全委員承認
尾崎会長	実証実験に向けた準備作業については今後、分科会において検討を進めていくということでよいか。
一同	全委員承認
尾崎会長	以上を持って、「デマンド型交通実証実験運行案（最終案）」については終了させていただく。ここまでの議事資料、議事録については公開とさせていただく。 以上